

令和2年度 礼文町功労者表彰式

式 辞

令和3年1月15日

礼文町長 小野 徹

輝かしい令和の御代、令和3年の新春を皆さんとともに迎えることができましたこと、心からお慶びを申し上げます。

本日は、時節柄、何かとお忙しい中、「礼文町功労者表彰式」に礼文町議会議長柳谷正武様はじめ多くのご来賓各位にご列席を賜り、衷心より厚くお礼を申し上げます。

皆様には、日ごろから町政の推進にあたり、格別なるご理解とご支援ご協力をいただいておりますことにあらためてお礼を申し上げる次第でございます。

今年も、どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日の「功労者表彰式」は、1月8日に予定しておりましたが、大荒れの吹雪に見舞われ、本日の開催となったところでございます。また、例年ですとお正月の「新春懇談会」の中で、一緒に執り行ってまいりましたが、昨年来の、新型コロナウイルス感染症により、所謂「新しい日常」と云われる中、感染防止対策を徹底することとして、本年は、表彰条例に基づく「功労者表彰式」のみの実施とさせていただいたところでございますので、ご理解を賜りたいと存じます。

本日受賞される皆様は、多年にわたり町民福祉や児童福祉の発展向上に尽くされ、また、固定資産評価等々にご尽力をいただいていたところであり、永年にわたって納税組合長、交通安全指導員、統計調査員を務められる等地方自治の進展に大きく貢献されました。また、永年、消防団員並びに水難救難所員として火災や災害から地域を守り、海難事故を防ぐ等、安心安全な地域づくり、ふるさとのために献身的な貢献をされた皆様であり、ともに、ふるさと礼文町の進展を願い、未来に向かって大きな夢の種をまかれ、^{ふるさと}郷土礼文町の発展にご尽力を賜りました皆様でございます。

令和 3 年の新春にあたり、本町の発展に多大なご功績を賜りました皆様にあらためて衷心より敬意と感謝を表するとともに、どうぞ、これからも礼文町発展のため、変わらぬご支援を賜りますよう心からお願いを申し上げる次第でございます。

さて、迎えた 2021 年、昨年からの感染症の感染拡大によって昨年の大晦日、東京都の感染者は 1,373 人と感染者が初めて千人を超えましたが、年を越した 1 月 7 日には 2,447 人とついに 2 千人を超え、埼玉、千葉、神奈川でも過去最多を更新したため、1 月 8 日に首都圏一都三県に「緊急事態宣言」が発令されました。同様に 13 日には、大阪、京都、兵庫の三府県、並びに栃木、愛知、岐阜、福岡の四県にも「緊急事態宣言」を拡大しました。

また、北海道も今日までとなっていた北海道独自の「集中対策期間」を来月 15 日までひと月延長して、全道に、感染拡大地域への往来自粛と不要不急の外出自粛の要請を発するとのことでございます。

幸い、礼文町では町民皆様方の大変なご努力によって感染は確認されておりませんが、私たちは「ウイズコロナ」という不安な社会の中で生きていかなければなりません。

したがって、人と人とのつながりがとても大事なことや、相手を思いやる心の大切さが求められていると感じているところでございます。

ちょうど今年は「東日本大震災」から 10 年になります。あの時私たちが胸に抱いた「絆」の文字を思い起こして、人と人との結びつきを強めなければなりません。

テーマを“「島の絆」”地域の結びつきと支えあいによる島の更なる発展をめざして”とした、わが町の新しいまちづくり総合計画も今年 2 年目を迎えます。

私たちは、『離島である礼文町が、今後さらに人口減少や少子高齢化が見込まれる厳しい時代にあっても「地域の結びつき」や「人と人との支えあい」を大切にして、島全体が「家族」のように一体となり、私たち一人ひとりが郷土への愛着と誇りを持って、町の更なる発展をめざす』という強い思いを込め、「生まれ育った地域で安心して暮らせるまちづくり」、

「これからも礼文島に暮らす人々が幸せを感じ、将来にわたって住み続けたいと思えるまちづくり」、そして「コロナに負けない元気な礼文づくり」を、職員一丸となって進める所存でございます。

「礼文町功労者表彰式」の佳き日にあたり、本年も礼文町が、^{たくま}逞しい活力と自信に満ちた町として、すべての町民の皆さんとともに感動あるまちづくりができますよう、全身全霊を込めて邁進してまいりますので、あらためて町議会議員各位並びに町民皆さまの尚一層のご理解とご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、今年一年が、明るく素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます、「礼文町功労者表彰式」の式辞といたします。

令和3年1月15日

礼文町長 小 野 徹